

専門学校アートカレッジ神戸

現場ですぐに活躍できるカーデザイナーを育成する

■「カーデザイナーにとって、立体のイメージをどれだけ頭に描けるかがとても重要」

専門学校アートカレッジ神戸・カーデザイン学科の天川哲也先生はこう話す。カーデザイン学科は先ごろスタートしたばかりの新設学科。実践スキルの育成を重視したカリキュラムが大きな特色だが、設備面でも大変充実している。その中でもとりわけ大きな存在となっているのがZPrinter310だ。

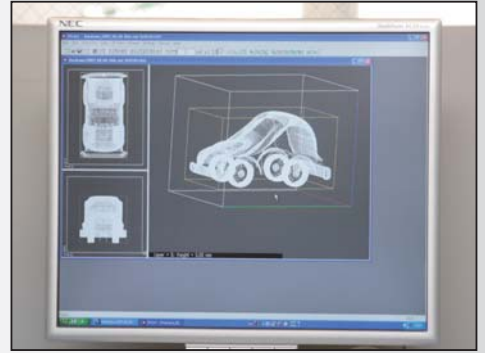
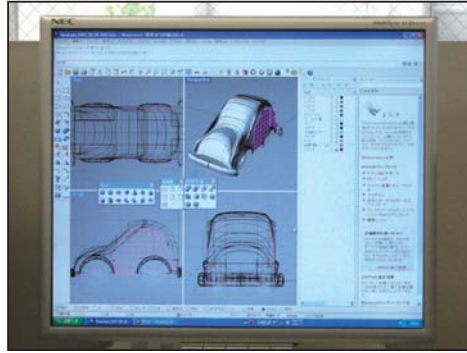
デザインしたものをすぐに実際の形にしてくれるZPrinter310。カーデザイナーに必要な立体をイメージする力を養成する本機が、次代を担う人材育成に果たせる役割について天川先生に伺った。

カーデザイナーに必要な立体をイメージする力を養成

図面の実物を確認するためにZPrinter310を導入。少ない時間・費用で、デザインの試作が何度でも可能に



カーデザイン学科担任教員
天川哲也先生



CAD図面を専用ソフトで読み込みプリント操作するだけ。簡単に3Dプリントができる。

自分のデザインを試せて、失敗も怖くない。
カーデザイナーを志す学生たち待望のツール

ZPrinter310は同校のカーデザイン学科設立に合わせて導入された。「デザインの学習を進めていくうえで、図面に起こした物の実際の形を確認するために導入しました」

CAD図面から試作品を作るには従来、専門の職人に製作を依頼しなければならなかった。しかも、製作には1週間以上かかることもあり、もしも出来上がったものがイメージと違い再び変更を加えたとすれば、そこからさらに日数を要するなど時間の浪費を余儀なくされていた。

また、形を確認する手段としては他にもコンピューターグラフィックによる3D映像があるが、クオリティの面でまだまだ不十分。「3D映像で実際の形をイメージするのは困難。やはり実際に作ってみたいことには、形や大きさは実感できませんね」とのことだ。

そこで導入されたのがZPrinter310。わずかな時間で図面が形になり、しかも費用は少なく抑えられる。自分のデザインを何度も試すことができる本機は、これからカーデザインを学んでいく学生たちにとってまさにうってつけのツールだったというわけだ。

図面からではわからない使い心地を何度も検討することでユーザーの理想形を追求

新設の学科ということもあり、学生たちの学習はまだ基礎の段階。今後学習を進めながら

CADによる図面作りをマスターしたところで、いろいろな試作品を作り出す予定になっている。

ZPrinter310が出力するのは、シフトのレバーや方向指示器のレバーなど、内装が中心になるとのこと。現在、車は内装が重要視されているようで、包まれるようなフィット感がユーザーから求められている。内装は手で触れる部分も多く、大きさや握ったときの手応えなどは、図面上だけではわからない。ユーザーフレンドリーな空間作りのためにも、実際の曲線などを何度も検討できるZPrinter310が活躍する場面は少なくないはずだ。

具現化して初めて気付くイメージと実物のギャップ
それを解消することで、さらにスキルはアップする

ZPrinter310がカーデザイナー育成に果たせる役割は大きい。デザインをしていく中で、『サイズはこれでいいのか』『この部分の厚みはこの



樹脂を材料とする機器も検討したが、臭いや有害物質の問題がネックに。教室での利用ということで、安全な本機を選定

「デザインしたものを実際の形にして、それをリメイク。この試行錯誤がデザインの上達には欠かせない」



職人なら製作に1週間以上かかるものが、驚くほど短い時間で完成する

「くらいでいいのか」などのことは形にしてみないとわからない。実際の形を目にして、手に取って確かめることで、当初考えていたものとの違いに初めて気付く。そして何度もやり直すことで、イメージと実物とのギャップを徐々に埋めていくことができるのだ。

失敗しながら何度も、早いサイクルで試作できるというのはデザイン学習者には大きな強み。このような試行錯誤を繰り返すことでデザインの方はぐんぐん上達していく。

いろいろなパターンを一挙に試作できるのでデザインの良し悪しがひと目でわかる

また、経験の少ない学生たちにとって、いろいろな試作バリエーションを頭の中でイメージするのは難しい。その点、ZPrinter310によって、いろいろなパターンを短時間で試作して並べることで、比較検討が容易になる。

「このような試行錯誤がどれだけできるかで

人材が育つかどうかが決まると言っても過言ではありません。しかし専門学校は学習期間が限られています。ですから、短時間で何度も試作を繰り返せるZPrinter310の存在というのはとても大きなものになると思います」

頭の中のイメージを的確に伝える能力を養成
試作の繰り返して培われた力が実際の現場で有効に

この学科から巣立っていく人材が自動車会社などに就職した時も、ここでの経験が生きてくる。実際の現場では試作品を作るときは専門家に依頼するが、その際にもデザイナーはイメージがしっかり相手に伝わるスケッチが描けなければいけない。ZPrinter310で培われた立体イメージの感覚が大いにモノを言うはずだ。

試作の繰り返して若い感性を研ぎ澄ませていくカーデザイン科の学生たち。ZPrinter310を通して才能を開花させたカーデザイナーたちが、次々に誕生する日もそう遠くはないだろう。



グラフィック学科など、他学科からも使用したいという声がある

造形スピードと
コストパフォーマンスの高さで
研究や教育プロセスを改善！



新価格
298万円(税別)
本体+1年間無償保証付き

**ZPrinter[®] 310
Plus**



Z CORPORATION[™]

Z コーポレーションジャパン
横浜市西区みなとみらい2-2-1
横浜ランドマークタワー30F
045-224-3271
apac@zcorp.com
www.zcorp.com/jp

ZPrinter は Z コーポレーションの登録商標です。その他すべての社名および製品名はその所有者の商標または登録商標です。
©2008 Z コーポレーション.All rights reserved.



学校法人神戸学園
専門学校アートカレッジ神戸

専門学校アートカレッジ神戸は、昭和40年に芦屋芸術学院として開校。兵庫県下の同種校では最も古い歴史と実績を誇る。「アート」「デザイン」「エンターテインメント」の3つの領域を中核に教育活動を展開し、平成20年4月にはカーデザイン学科を新設。次代を担うカーデザイナーの育成を目指している。